

IX 学校の財務状況

令和2年度事業報告書

1 教育関係

岡山県をはじめ、中国四国における酪農業の健全な発展を図るため、企業的酪農経営に関する知識を授けるとともに、21世紀の酪農経営を担う人材養成を旨とした教育方針に基づき、下記のとおり実践教育を実施した。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、56期生の入学が6月にずれ込む、また、55期生の校外実務研修の一部中止や酪農フィールド研修の中止などの影響があった。

(1) 教育実績

- ・講義及び実習実績…………… (別紙1)
- ・第55期生及び第56期生就学状況…………… (別紙2)
- ・第54期、第55期生卒業生名簿及び第56期生学生名簿…………… (別紙3)
- ・令和3年度第57期生入学許可者数及び入学者名簿…………… (別紙4)
- ・出身県別卒業生及び在校生数…………… (別紙5)
- ・校外実務研修 (令和2年4月1日～令和2年11月23日) 研修農家数：45農場
- ・酪農関係各種施設等の見学 (新型コロナウイルス感染症のため中止)

(2) 専門教育・講習会・酪農フィールド研修等

- ・家畜人工授精講習会：令和2年11月24日～12月23日 (学生18名)
- ・受精卵移植技術講習会
体内：令和3年1月5日～1月29日 (学生21名)
- ・牛削蹄師講習会：令和2年11月26、27日 (学生4名)
- ・家畜商講習会：(隔年開催R2は未実施)
- ・酪農ヘルパー専門技術員養成研修会 (新型コロナウイルス感染症のため中止)
- ・フォークリフト技能講習：令和2年10月19日、11月2、12日 (学生16名)
- ・車両系建設機械等技能講習：令和3年2月24、25日、3月24、25日 (学生16名)
- ・酪農フィールド研修 (新型コロナウイルス感染症のため中止)

資格取得状況

資格の種類	受講者数	合格者数	合格率	備考
家畜人工授精師講習会	18人	17人	94%	合格証
家畜体内受精卵移植講習会	21人	19人	90%	合格証
2級認定牛削蹄師認定講習会・認定試験	4人	4人	100%	合格証
フォークリフト運転技能講習	16人	16人	100%	修了証
車両系建設機械(整地等)技能講習	16人	16人	100%	修了証
大型特殊自動車運転免許(農耕限定)	4人	4人	100%	免許証
〃 (限定解除)	11人	11人	100%	免許証
牽引自動車運転免許 (農耕限定)	17人	16人	94%	免許証

※ 本校の学生のみ記載

(3) 農場HACCP

「農場HACCP」について、平成29年1月に附属第2牧場が岡山県内で初めて、かつ、教育機関として全国で初めて農場HACCP認証農場として認証され、令和2年1月に更新認証された。附属第1牧場においても平成30年6月に農場HACCP認証を取得した。農場HACCPの手法に基づいて、消費者の求める安全で高品質な生乳を継続的に生産し、学生等が生産段階における食品の安全確保に係る方法や法令等を学ぶ教育施設としてレベルアップを図っていく。

(4) 学校評価

学校教育法及び同施行規則の改正により、専修学校においても学校評価制度に関する規定が設けられたことから、本校でも、教育の質の改善等を目的に取組を進めた。

- ① 中期運営計画を踏まえた、学校の重点目標の設定
学生の確保（50名以上）、酪農への就業率の確保（100%）
- ② 学生・卒業生によるアンケートの実施（55、56期生 回収：39人）
- ③ アンケート結果を踏まえた具体の目標設定
・教育カリキュラムや学生支援の充実及び運営体制の強化等
- ④ 職員研修の実施
- ⑤ 職員の自己評価の実施（13人）
- ⑥ 令和2年度自己評価を受けた学校関係者評価の実施準備

(5) その他

- ・酪農に対する一般消費者の理解を深めるため、学校児童・生徒等に対する搾乳体験、牧場見学等を実施した。（405名）
- ・各種発表会、コンクール等への参加
中国ブロック農業大学校等意見発表会(R3.1.19 WEB開催)
56期生 田崎優作 「牛が鳴くみどりの町の復興を目指して」
- ・就学資金の確保支援
 - ① 農業次世代人材投資事業（準備型）
※ 全国型教育機関として全国農業会議所から承認。

55期生(卒業)	56期生(2年)	合計
14名	5名	19名

② 奨学金

※ 専修学校化により、受給可能

55期生(卒業)	56期生(2年)	合計
3名	5名	8名

2 生産関係

令和元年10月30日付けで岡山県真庭市から農業経営改善計画の認定を受け、認定農業者を取得した。

附属第1牧場（ホルスタイン種）及び附属第2牧場（ジャージー種）で牛乳の生産実習を行うとともに農協へ売払委託を行った。

・生乳生産量（売払金額）・・1, 126 t（159, 479千円）

第1牧場：477 t（60, 784千円）

第2牧場：649 t（98, 695千円）

3 決算関係

正味財産増減計算書で、正味財産期末残高は323, 513, 772円となった。

4 令和2年度事業報告附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。